

天津大寺新家
園居住区
プロジェクト

2007

天津の中心から南方 15 km に位置する天津市政府が開発する約 470ha の居住区開発のための国際コンペの一等案である。

持続可能都市・環境共生都市・高アメニティ都市の形成を理念に、都市の中心軸、都市交通軸、水緑の三つの軸による都市骨格軸を形成している。

計画の特色としては

- 公共公道優先する都市づくりのため、地下駅起終点とするトランジットモールを導入し、歩車分離の明確化と共に歩行者重視のコンパクトな街づくり
- 都市の魅力、コミュニティ豊かな環境づくり、公共領域・公共空間の充実したまちづくり
- 現況の河川を組み込んだ水と緑のネットワークの水力都市の形成
- 都市の明確な構造を与え、それによる場所の個性を創出し、多様な魅力ある都市空間を創出
- 身近なコミュニティを重視した住宅地形成、多様な居住環境や高齢化社会に対応する住宅地形成



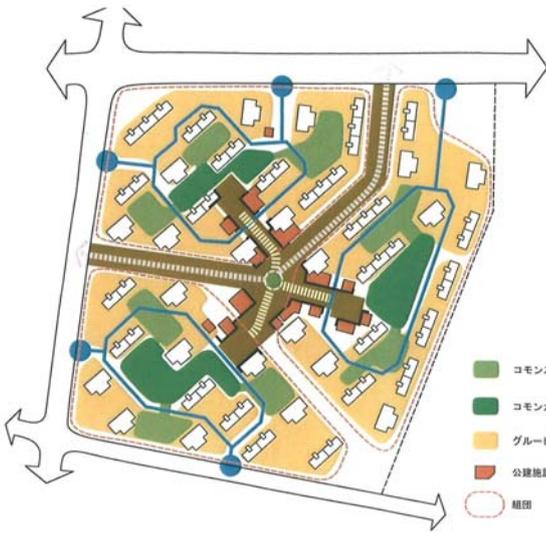
■全体パース

■全体構成と住宅地の考え方

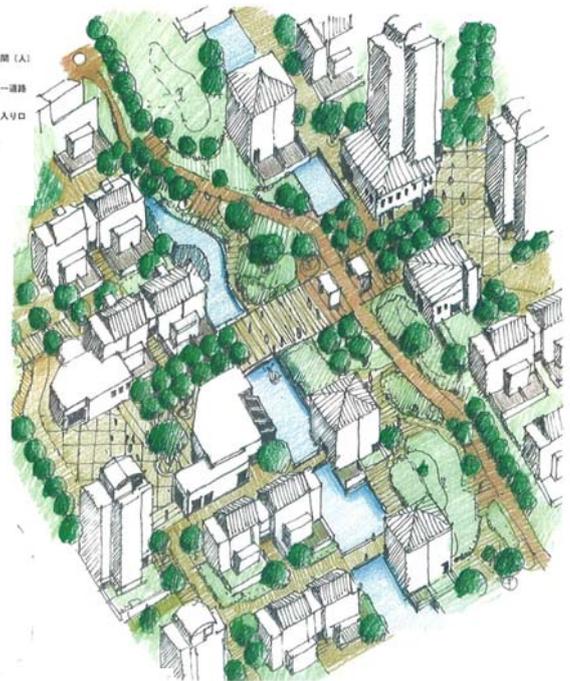
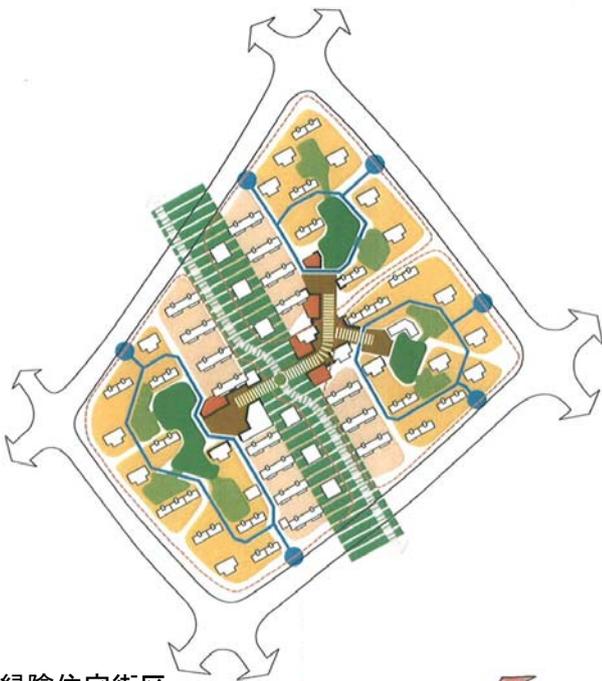


■マスタープラン

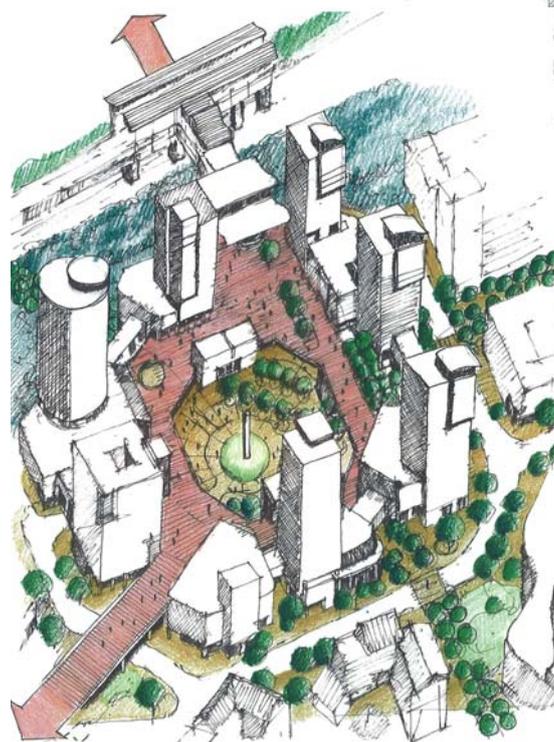
0 100 200 500 1,000m



■一般住宅街区



■緑陰住宅街区



■センター街区